

2007年11月29日

流通 BMS ソリューション「REDISuite」を提供開始

流通ビジネスメッセージ標準に対応した新 EDI ソリューションを
導入型、アウトソーシング型、ASP 型の 3 タイプで提供

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下 日立情報）は、流通ビジネスメッセージ標準（流通 BMS、注 1）に対応した流通業向け受発注 EDI（電子データ交換）サービスとして、流通 BMS ソリューション「REDISuite（レディースイート）」を、本日より提供開始いたします。（「REDISuite」は、日立製作所及び日立情報システムズが提供する「流通 BMS ソリューション」の総称です）

「REDISuite」は、インターネットをベースとした次世代 EDI をはじめ、あらゆる手順・インターフェースに対応した流通業向けのワンストップ型 EDI サービスです。日立情報の豊富な EDI システム構築・運用実績を活かし、自社導入型、アウトソーシング型、ASP 型と、お客様の要望に応じたきめ細かいサービスを短期間で提供できるのが特長です。

日立情報では昨年 12 月、小売業界の大手総合スーパーであるユニー株式会社（以下、ユニー）のビジネスパートナーとして、経済産業省の「次世代 EDI 共同実証プロジェクト（注 2）」に参画しました。「REDISuite」は、このプロジェクトを通じて日立情報が構築し、本年 2 月よりユニーが利用している次世代 EDI 機能を、サービスとして整備したものです。お客様は「REDISuite」の利用により、ユニーで稼働実績がある次世代 EDI への移行が短期間で可能です。

日立情報では「REDISuite」を、スーパーマーケットなどの小売業や卸売業に向けて拡販し、2010 年度（2011 年 3 月）までに 35,000 社の利用、小売・卸売業のシェア 50%を目指します。これにより、2010 年度に、EDI 関連事業の売上高 80 億円を目標とします。

（注 1）流通ビジネスメッセージ標準：総合小売業（GMS）や食品スーパーが卸売業者と取引する際に必要なメッセージ項目を定義したもの。経済産業省の「流通システム標準化事業」の一環で、事務局の（財）流通システム開発センターが公開した。

（注 2）次世代 EDI 共同実証プロジェクト：流通ビジネスメッセージ標準の策定を目的に 2006 年 12 月から 2007 年 3 月まで行われた次世代標準 EDI の共同実証実験。小売業・卸売業 13 社が参加。

1. 流通 BMS ソリューション「REDISuite」開始の背景

流通業界では小売・卸売業間の受発注業務などの取引において、従来使われてきた JCA 手順から、より高速で廉価なインターネットを利用する国際標準手順 ebXML（注 3）・EDIINT-AS2（注 4）・JX 手順（注 5）を利用した次世代 EDI への切り替えが進んでいます。また、こうした新手順への切り替えを前提に、流通サプライチェーン全体を巻き込んだ業務革新への取り組みも始まっており、中堅・中小規模流通業への普及も見込まれています。

1983 年より EDI サービスを開始した日立情報では、流通関連システムの構築実績とネットワーク・データセンタの運用実績を活かして利用企業数を拡大し、2007 年 11 月現在、約 20,000 社の小売業・卸売業が日立情報の EDI サービスを利用しています。

こうした EDI の豊富な構築・運用実績と、流通システム標準化事業にユニーと共同で参画した実績をもとに、日立情報では中堅・中小規模の小売・卸売業の業務改革を目指し、流通 BMS ソリューション「REDISuite」を提供開始します。

(注 3) ebXML : XML を活用した企業間電子商取引のための国際標準規格。

(注 4) EDIINT-AS2 : 「EDIINT」はインターネット標準化団体 IETF (Internet Engineering Task Force)のグループの 1 つであり、「AS2 (Applicability Statement 2) は IETF が策定したインターネット EDI の国際標準規格。

(注 5) JX 手順 : 企業間電子商取引におけるメッセージ交換手順について、国際標準仕様(SOAP-RPC)を基に制定されたガイドライン。

2. 「REDISuite」の特長

(1) 流通 BMS への移行が短期間で可能

流通 BMS だけでなく、レガシタイプ EDI、WEB-EDI 等、従来サービスとのシームレスな連携が可能です。小売業のお客様は、従来サービスとの互換性は残しつつ、次世代 EDI に対応した流通 BMS への移行が短期間で可能です。

(2) 流通 BMS をすぐに利用できる ASP 型サービスを提供

流通 BMS をすぐに利用できる ASP 型のサービスを提供します。大きな投資をすることなく流通 BMS をすぐに利用できますので、次世代 EDI への対応を急ぐ中堅・中小規模の卸売業のお客様に最適です。

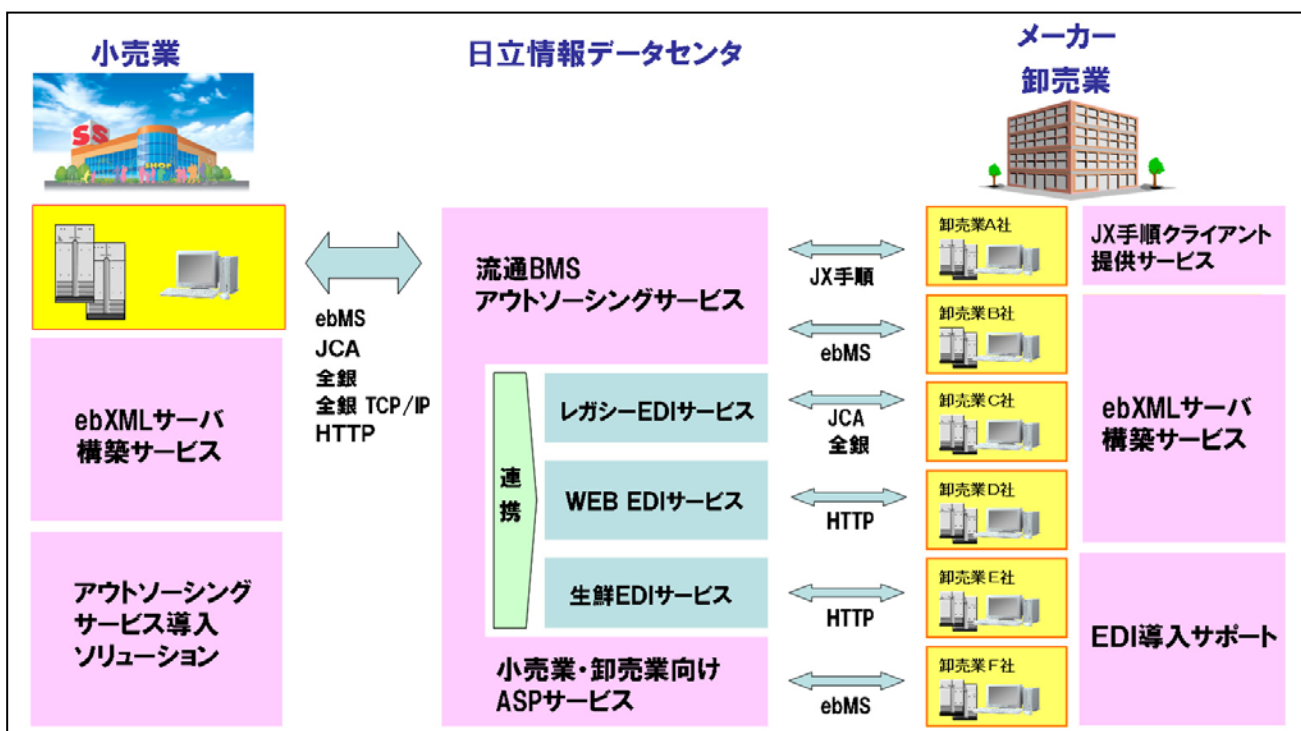
(3) EDI の豊富な接続・構築実績

長年にわたり業界をリードしてきた EDI サービスの豊富な経験・業務ノウハウと、ユニーが利用中の次世代 EDI システムを構築から運用までサポートしている実績を活かして、自社導入型、アウトソーシング型、ASP 型のいずれにおいても高信頼のサービスを提供します。

(4) 流通 BMS への段階的な移行が可能

最初は負担の少ない ASP サービスまたは JX 手順クライアント提供サービスから開始し、取引拡大に伴いアウトソーシング型や自社導入型へ切り替えるなど、流通 BMS への段階的な移行が可能です。

3. 「REDISuite」の概念図



4. 「REDISuite」のサービス内容

サービスタイプ	小売業向け	卸売業向け
自社導入型	・ ebXML サーバ構築サービス	・ ebXML サーバ構築サービス ・ JX 手順クライアント提供サービス
アウトソーシング型	・ 流通 BMS アウトソーシングサービス	・ 流通 BMS アウトソーシングサービス
ASP 型	・ 小売業向け ASP サービス	・ 卸売業向け ASP サービス ・ Web-EDI サービス

5. 問い合わせ先

【お客さまからのお問い合わせ先】

商品問い合わせ窓口

お問合せ Web フォーム : <http://www.hitachijoho.com/contact/>

【報道機関からのお問い合わせ先】

CSR 本部コーポレート・コミュニケーション部 松林、赤川

〒141-8672 東京都品川区大崎 1-2-1

TEL 03-5435-5002 (ダイヤルイン) e-mail press@hitachijoho.com

以上